

# わたしのまちに 安全・安心を

## 災害の備えは だいたい済んでいますか？

◎災害時の避難勧告や避難方法について、またハザードマップの避難場所や避難対策及び三田市災害時要援護者支援制度について現状は？

A 住民の皆さんの安全を確保するため、武庫川など主要河川の水位が「氾濫注意水位」に達し、その後の気象条件によって避難勧告の発令が予想される場合は、「避難準備情報」を発令します。その後、降雨などで災害発生危険度が高まった場合に「避難勧告」を、さらに著しい危険が迫っているときは「避難指示」に切り替えて対象地区の住民の皆さんに発令します。

◎市域全体の災害時要援護者の対象者は約4,700人で、うち登録者は1,405人です。避難対策については、登録者の身体の状態に応じた支援方法について学芸研修会を社会福祉協議会と共同で出前講座方式で行うなど、共に助け合う精神で地域主体の支援体制を充実させていきます。

## 浸水対策早くして！

◎対中町は大雨が降ると道路が冠水し、住宅浸水の恐れもあります。同地区の区画整理事業との関連もあってと思いますが、早く浸水の対策を行うことが必要です。



A 対中町は地区内の排水路や道路が狭く、抜本的な浸水対策は、土地区画整理事業と一体的に実施したいと考えます。しかし、土地区画整理事業の実施にはなつかせています。

◎以前から地域の皆さんの要望が強い市道三輪香下線(三輪旧道)の拡幅は、道路付近の土地地番や所有者が特定できない状況であるため、早期実施は困難です。当面、部分的な安全対策に取り組みます。

◎道路幅が狭く勾配が急な三輪旧道。早急に安全確保が必要ですが、市道高次線の完成時期と安全対策は？

A 以前から地域の皆さんの要望が強い市道三輪香下線(三輪旧道)の拡幅は、道路付近の土地地番や所有者が特定できない状況であるため、早期実施は困難です。当面、部分的な安全対策に取り組みます。

◎市道高次線の完成時期ですが、平成23年3月末までに完成予定です。また、工事期間中の安全対策として、交通整理員を配置し、住民の皆さんや通行車両の安全を図ります。工事期間についても、児童・生徒の通園や通学に支障のない夏休み期間中に工事を行うことで安全を確保します。

# 人と未来のまちづくり

## 三田を人が輝くまちに

◎三田市人権のまちづくり推進委員会を提言を受けて、市長の考えを伺います。

A 市民の皆さんが行政が協働しながら、一人ひとりが人権について正しく学び、共に考えあい、行動していく。そんな市民がえられるまちこそが「人権のまち」の姿ではないかと思っています。

市としては、人権センター機能充実のため、平成23年度に「人権に関する総合相談窓口」の設置を検討しています。

また、平成22年度からタウンミーティングを開催し、広く市民のみなさんの意見を聴くことも十分に大に議論し、「人権条例」や「人権教育支援のための「人権オンスーパーン」制度」などの人権施策についても検討していきます。

## 市民が主体的に参加する市民に役割や責任が伴うのであれば、市民活動団体や地域団体に対して財源付与が必要と思いますが、市長の考えは？

A 自らのまちは自らの手でつくりたいという理念のもと、現在「まちづくり基本条例」を検討しています。この条例では、市民、議会、行政の各主体の権利、役割や責務を規定し、意識を共有していきます。今後、条例案を検討する際には、地域の皆さんによる新たな組織の必要性や実現可能性など、住民自治を進めるための望ましい姿を議論していきます。

今ある自治体・自治会などの地域団体や新たな地域住民組織などを対象に、責任に応じて財源や権限を

市から分権するということについては、その効果や課題を研究していきます。

## 施設白書について

◎市の財政を改善するためには、市の施設の現状を把握し、修理時期や本当に市がサービスを行うべきなのか判断する基礎資料(施設白書)をつくる必要があると考えます。

A 市の資産評価の面から、一部の基礎データは把握していますが、施設ごとの白書的な取りまとめはできていません。公共施設については、少子高齢化が進むにつれ、利用のされ方が変わることが予測されます。そうした利用実態に応じた管理運営を考え、施設そのもの見直しや利活用、廃止を検討する必要があります。施設の維持管理をはじめ、今後の利活用の方針の資料となるよう、市の施設のデータ整理を進め、先進事例を調査研究していきます。

## 課題にむけて何ができるのか

◎多様化する市民ニーズに的確に対応するためには、さらなる職員的能力開発、資質向上が必要です。

A 市の職員自身が、過去の恵まれた財政環境のもとで仕事をしていた時代は、すでに終わったことをしっかりと受け止めなければなりません。その上で柔軟な発想と果敢なチャレンジ精神をもって、まちづくりを取り組むことが必要です。また、市長が直接職員と対話する機会を多く持ち、まちづくりの理念や考えを伝え、ビジョンや目標を職員全体で共有し、職場議論がしやすい組織風土づくりを進めます。

質問議員 (質問順)		
岡田 秀雄(真正会)	肥後 淳三(新政みらい)	平野 菅子(公明党)
城谷 恵治(日本共産党)	野上 和雄(民主党三田)	酒井 一憲(自由民主党)
福田 秀章(盟友会)	坂本 三郎(無党派)	森本 政直(真正会)
厚地 弘行(新政みらい)	松岡 信生(公明党)	中田 初美(日本共産党)



三田まつり8月7日(土)開催

# わたしたちのまちに活気を！

## ごみ収集の民間委託を 拡大しては

◎行軍の一環として、市が直営でごみを収集している地区を民間委託へ切り替えるべきと考えます。

A 現在「ニュータウン」などの地域を委託業者が収集し、既成市街地や農村部を市が直接収集しています。ごみ収集事業の維持安定や緊急時の対応などを考えると、ごみ収集事業をすべて委託化することは困難と考えています。



三田市のごみ収集車

## ワンちゃんを やさしくまぜ

◎犬のふん害など飼い主の飼育マナーの向上が叫ばれています。「まち」の魅力向上を目的に、都市公園にドッグランを設置しては？

A ドッグラン施設の設置状況は、高遠道路のサービスエリアや民間の施設で設置されていますが、国営公園などの大きな公園を除き、自治体における設置は少ない状況です。公園の規模から運動公園や総合公園などが考えられますが、今ある公園に新たにドッグランを設置することになると、鳴き声や臭気などほかの公園利用者や近隣の方々の理解を得る必要があります。この

# くらしと健康のまちづくり

## 小児救急について

◎小児科の救急窓口は土曜・日曜日の午後5時以降や平日の一部の夜は、当番病院がありません。神戸市北区の病院との連携も含め、課題解決をどう考えていますか。

A 全国的な小児科の医師不足の中で、2次輪番制の核である済生会兵庫東病院をはじめ、社会保険神戸中央病院、真星病院についても、医師の確保については大変難しい状況にあります。2次小児救急医療が空白となる日の解消については、三田市や神戸市北区だけの問題でなく、広域的に対応をしていくべき課題です。すでに県へ要望をしていますが、医師会、各関係機関も引き続き働きかけしていきます。



平成22年3月7日から診療を開始した「三田市休日応急診療センター」

## コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度)について

◎開かれた学校園づくりを目指して、地域と協働した学校運営が必要ですが、国が平成16年に法改正で導入した学校運営協議会制度について、市は検討していますか？

A 昨年4月の時点では、兵庫県にはありませんが、全国では幼稚園22、小学校334、中学校114、高等学校3、特別支援学校5の計478校がコミュニティ・スクールに指定されています。

うしたことから都市公園でのドッグラン施設の設置は困難と考えています。

## 新庁舎を目指して

◎世界三大書庫のひとつと言われている「三田書庫」を常設で展示するスペースを市役所の新庁舎に設けることにより、全国に自慢できる庁舎となる考えますが、できる庁舎となる考えますが、

## おかしな話

### 有料施設の優先予約

◎市の有料施設について、市民の予約より先に、市職員互助会や一般企業が優先的に予約しているが、問題はないのですか。

A 市の体育館など有料施設は、限られた施設数の中で、市内の事業所や各種団体の年間行事を計画的に進めていたため、優先予約制度が設けられていました。事業所については、現在19の登録事業所が年間5件程度利用しており、市職員互助会も事業所と同じ取扱いです。一方、体育協会に加盟する各種団体の利用実績は235件程度とあっており、団体間で施設利用の調整を行っています。今後、優先予約制度のお知らせ方法を検討し、施設予約の利便性が高まるよう体育協会などの意見を聴く中で調整していきます。

## 地域経済の活性化と 雇用について

◎雇用を確保するため、小規模事業者にも補助制度を創設したり、福祉分野の施策を充実したりしてはどうですか？

A 議員が提案された地域経済の活性化を目的とした住宅リノベーション助成制度の創設は、住宅を所有している市民の個人資産に公費を投入することになります。そのため、提案された制度は実施できません。

次に特別養護老人ホームや保育所を建設することで雇用の拡大できないかとの提案ですが、特別養護老人ホームについては、高齢者の急増期をむかえる平成27年度以降の段階で、待機者の状況のみならず施設整備を進めるため、現在、建設予定はありません。また、保育所についても認定こども園制度の有効活用などにより対応するため、市として保育所の新設は行いません。